

スポーツ・システム研究科 修士課程 履修系統図

【共通科目】 スポーツ科学研究の基礎や応用、具体的な手法を学ぶための科目

【スポーツ教育コース】

高度な専門知識を有した、体育・スポーツの指導者（教育者）や、スポーツに関わる人材養成を目指すための科目

【スポーツ科学コース】

コーチング、トレーニングに関する理論及びその専門的な方法の修得を目指すための科目

【スポーツ・システム研究科修士課程のDP】

DP1. 体育・スポーツの科学的な基本知識を有しており、これらを応用する能力と倫理観を有する者。

DP2. 自身の興味関心がある体育・スポーツ事象を研究課題としており、独創性を持って体育・スポーツ科学研究の分野に積極的に貢献し、生涯を通じて探求しようとする姿勢を有する者。

DP3. 体育・スポーツに関わる課題を系統的に捉え、体育・スポーツ現場における実践的な課題を解決し得る能力を有する者。

DP4. 体育・スポーツに関わる教育者や体育・スポーツ指導者とともに活動する中で、体育・スポーツ科学の専門性を発揮し情熱を持って実践活動に取り組める者。

○スポーツ社会学特論

○スポーツ史特論

○スポーツ哲学特論

○スポーツ経営学特論

○スポーツクラブ経営特論

○スポーツジャーナリズム特論

○スポーツレクリエーション特論

○スポーツ教育学特論

○体育科教職特論

○スポーツ分野教職特論

○スポーツ分野語学特論

○スポーツ法学特論

○スポーツ心理学特論

○スポーツ医学特論

○スポーツトレーニング科学特論

○スポーツコンディショニング学特論

○スポーツ栄養学特論

○スポーツ生理学特論

○スポーツ技術特論

○スポーツ・リハビリテーション学特論

○競技スポーツコーチング特論・実習

○スポーツバイオメカニクス特論

○スポーツ発育・発達学特論

○スポーツ測定評価学特論

○スポーツ教育システム特論(1年次)

○スポーツ科学システム特論(1年次)

○スポーツシステム研究方法論演習Ⅰ～Ⅳ(1・2年次)

スポーツ・システム研究科 博士課程 履修系統図

【共通科目】 スポーツ科学研究の応用、研究の発展性について学習する 博士論文作成のための科目

【スポーツ教育コース】

スポーツ事象を哲学・教育・歴史などを社会科学的理論によって、
システムの捉える能力を養うための科目

【スポーツ科学コース】

競技力向上のためのコーチングやトレーニングを基礎として競技
スポーツをシステムの捉える能力を養うための科目

【スポーツ・システム研究科博士課程のDP】

DP1. 自立して研究活動を行うに
必要である高度な研究能力及びその
基礎となる豊かな学識と倫理観を有
する者。

DP2. 高い独創性を持つ研究活動
に主体性がみられ、学位取得後も自
身の興味に沿って探究心を失わずに
分野の研究を牽引できる者。

DP3. 事象の理解について多様性
のある視点を持ちあわせ、社会に還
元しうる研究成果を導き出せる者。

DP4. 自身の研究活動に多様性を
もって邁進し、常に情熱的に協働し
て研究活動を遂行できる者。

○スポーツ哲学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ教育学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ心理学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツバイオメカニクス特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ史特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ社会学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○運動生理学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツコーチング特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ医学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ測定評価学特別演習Ⅰ～Ⅲ

○スポーツ哲学特別研究

○スポーツ教育学特別研究

○スポーツ心理学特別研究

○スポーツバイオメカニクス特別研究

○スポーツ史特別研究

○スポーツ社会学特別研究

○運動生理学特別研究

○スポーツコーチング特別研究

○スポーツ医学特別研究

○スポーツ測定評価学特別研究

○スポーツ教育研究方法論特講

○スポーツ科学研究方法論特講